

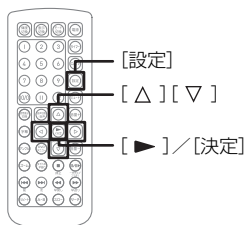
設定メニューの使い方

本機の設定は設定メニューから行います。
設定メニューには以下の3つがあります。

基本設定	全モードで共通の設定を行います。
TV／外部入力設定	「TVモード」と「外部入力モード」のときの設定を行います。
DVD設定	「DVDモード」のときの設定を行います。

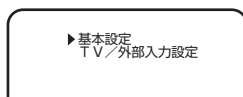
※以下の操作はリモコンで行ってください。

■基本設定メニュー・TV／外部入力設定メニューを使うには



1 [設定]を押します。

TVモード、外部入力モードの場合



DVDモードの場合



2 [△]／[▽]で「基本設定」または「TV／外部入力設定」を選び[決定]を押します。

- 各設定項目（60ページ）が表示されます。

3 [△]／[▽]で設定項目を選び[決定]を押します。

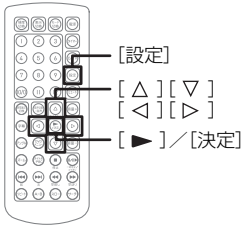
- 選択した項目の設定画面になります。

4 [△]／[▽]を押して設定します。

5 設定が終了したら[決定]を押します。

- 設定せずに戻るには、[設定] を押します。

6 設定メニューを終了するには[設定]を2回押します。



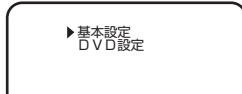
■DVD設定メニューを使うには

- DVD 設定は「DVD モード」から行ってください。

メモ

以下の説明中の「中項目」、「小項目」については、それぞれ「設定項目一覧」の「DVD 設定」(61 ページ)を参照してください。

1 [設定]を押します。



2 [△] / [▽] で「DVD設定」を選び [決定] を押します。

- ディスクの読み込み中は、読み込みが終わってから [決定] を押してください。
- DVD 設定メニューが表示されます。

3 [◀] / [▶] で大項目(一般項目設定、音質設定、その他設定)を選び [決定] を押します。

4 [△] / [▽] で中項目を選び、[決定] または [▶] を押します。

5 [△] / [▽] で小項目を選ぶか、[◀] / [▶] で調節し、[決定] を押します。

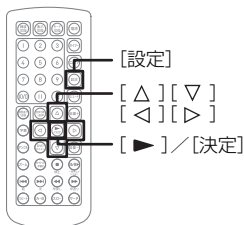
- 選んだ項目が設定されます。

6 設定メニューを終了するには [設定] を2回押します。

メモ

手順4、5で、[◀] を押すと、設定せずに戻ります。

手順3、4、5で、[設定] を押すと、手順1の画面に戻ります。



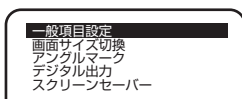
例1 DVD設定でサラウンドを「切」にする場合

1 [設定]を押します。



2 [▽]を押して「DVD設定」を選び[決定]を押します。

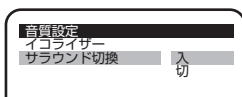
- DVD設定メニューが表示されます。



3 [▷]を押して「音質設定」を選び[決定]を押します。



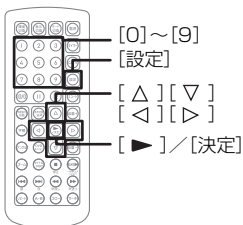
4 [▽]で「サラウンド切換」を選び、[決定]または[▷]を押します。



5 [△]/[▽]で「切」を選び、[決定]を押します。

6 [設定]を2回押します。

- 設定メニューが終了します。



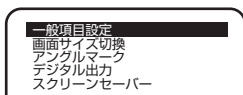
例2 パスワードを変更する場合

1 [設定]を押します。

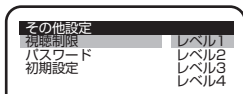


2 [▽]を押して「DVD設定」を選び[決定]を押します。

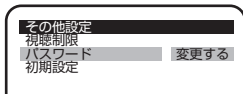
- DVD設定メニューが表示されます。



3 [▶]を2回押して「その他設定」を選び[決定]を押します。



4 [▽]で「パスワード」を選び、[決定]または[▶]を押します。



5 続けて[決定]を押すと、パスワード入力画面になります。

旧パスワードの入力	
新パスワードの入力	
新パスワードの再入力	

6 各パスワード項目に数値ボタンを使用して、旧パスワードと新パスワードを入力します。

- パスワードは4桁で入力してください。
- 旧パスワードが間違っていた場合、その先へは進めません。正しいパスワードを入力しなおすか、[設定]または[<]を押してパスワード設定から抜けてください。
- 「新パスワードの入力」と「新パスワードの再入力」の両方に、新しいパスワードを正しく入力すると、パスワードの変更が完了します。
- 新パスワードの再入力で間違えると、その先へ進めません。正しいパスワードを入力しなおすか、[設定]または[<]を押して一度パスワード設定から抜けてやり直してください。

7 [設定]を2回押します。

- 設定メニューが終了します。

■設定内容一覧

「基本設定」項目

設定項目	設定内容	
画質調整 ※1	画質を調整します。 「DVD モード」のときは、「明るさ」のみ設定できます。 「TV モード」と「外部入力モード」のときは、「決定」を押すごとに以下の順に切り換わります。	
	明るさ	+側に調整すると画面が明るくなり、-側に調整すると暗くなります。
	色の濃さ	+側に調整すると色が濃くなり、-側に調整すると色が薄くなります。
	色あい	緑側に調整すると緑が強くなり、赤側に調整すると赤が強くなります。
キー操作音切換	ボタンを押したときに操作音を鳴らす／鳴らさないの設定をします。	
	入	キー操作音を鳴らします。
	切	キー操作音を鳴らしません。
アラーム音量切換	タイマーのアラーム音量を設定します。	
	大	アラーム音を大きくします。
	小	アラーム音を小さくします。
オートパワーオフ切換	オートパワーオフ（自動的にスタンバイ状態になること）を、する／しないの設定をします。 以下の状態が5分間続き、その間何も操作しないとオートパワーオフします。 DVD モード：DVD 停止中。（スクリーンセーバーが「入」のときは、スクリーンセーバー起動状態） TV モード：テレビ放送が終了しているとき。 外部入力モード：外部接続機器からの信号がないとき。	
	入	オートパワーオフします。
	切	オートパワーオフしません。

※1 画質調整は、本体のモニター画面にのみ有効です。

「TV／外部入力設定」項目

- 「外部入力モード」のときは、「画面サイズ切換」のみ設定できます。

画面サイズ切換	画面サイズを切り換えます。 [設定] [画面サイズの切換について] (69 ページ)	
	ノーマル	アナログ放送など、アスペクト比 4:3 の画面を、縦横の比率を変えずにそのまま表示します。
	ワイド	ノーマル画面の左右を拡大し、画面幅いっぱいに表示します。
	ズーム	ノーマル画面の全体を拡大して表示します。画面サイズより外側の上下部分は表示されません。
チャンネル設定	[設定]「チャンネル設定」(43 ページ)	
選局切換	選局（チューニング）のしかたを切り換えます。	
	プリセット	あらかじめセットしたチャンネルを、[チャンネル+]／[チャンネル-]で選びます。または [1]～[12]で直接選局します。 (プリセットできるチャンネル数：最大 24 チャンネル。プリセット番号 1～12 にプリセットしたチャンネルが [1]～[12] で直接選局可能です。)
	オートサーチ	[チャンネル+]／[チャンネル-]を押すごとに、現在受信できる放送局が自動的に選局されます。
アンテナ感度切換	電波の受信レベルに応じて感度を切り換えます。	
	遠	電波が弱い場合
	近	電波が強い場合

「DVD設定」項目

大項目		設定内容
中項目	小項目	
一般項目設定		
画面サイズ切換		画面サイズを切り換えます。
	ノーマル	
	シネマ	 「■画面サイズの切換について」(69ページ)
	ワイド	
アングルマーク		アングルマークを表示するかどうか設定します。
	入	表示します。
	切	表示しません。
デジタル出力		光デジタル出力端子の出力を設定します。
	切	デジタル音声出力しません。
	RAW	記録されたそのままデジタル音声出力します。(例 ドルビーデジタルがそのまま出力される)
	PCM	2チャンネルのデジタルステレオの場合に設定します。
スクリーンセーバー		スクリーンセーバーを起動するかどうか設定します。
	入	停止したまま何も操作しないと、スクリーンセーバーが起動されます。(約1分後)
	切	スクリーンセーバーを起動しません。
ラストメモリー		電源を入れたとき、前回の続きから再生をするかどうか設定します。
	入	再生中またはレジューム中に電源を切ると、次回電源を入れたときに、続きから再生します。
	切	続きからは再生しません。
音質設定		
イコライザー		イコライザーを選択します。
	切、ロック、ポップス、ジャズ、クラシック	から選びます。
サラウンド切換		スペシャルイコライザー3D回路による臨場感あふれるサラウンド効果が楽しめます。
	入	サラウンドを使います。
	切	サラウンドを使いません。
その他設定		
視聴制限		視聴制限を設定します。
	パスワードを入力し、レベル1～レベル8	から選びます。
パスワード		視聴制限を変えときのパスワード
	パスワードを入力します。最初のパスワードは6789	です。パスワードを変更しても、最初のパスワード6789はそのまま有効です。
初期設定		視聴制限とパスワード以外を工場出荷時の状態に戻します。
	戻さない	戻しません。
	戻す	戻します。

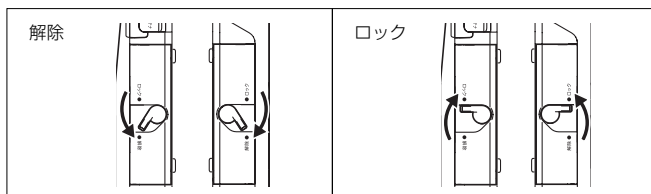
接続について

メモ

- 説明中のケーブル(市販品)の端子の色や、接続する機器側のプラグの形状は一例です。接続する機器に合わせたケーブルをご用意ください。

端子カバーについて

端子カバーのつまみを「解除」側に回してカバーを開きます。閉じるときは、カバーを押さえつけながらつまみを「ロック」側に止まるまで回します。

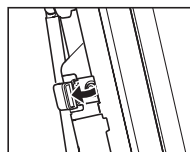


- 本体の端子カバーが開いているときは、防水にはなりません。また端子に外部機器が接続されているときも、防水にはなりません。

外部アンテナ端子について



- ご使用にならないときは、アンテナ端子カバーを閉じてください。
- アンテナコード (CF-262) は、外部アンテナ端子が乾いた状態で接続してください。

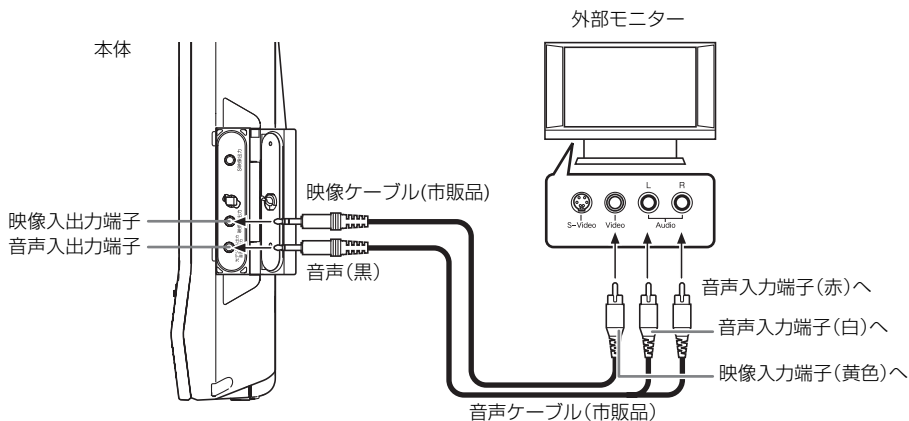


外部モニターと接続する

市販のケーブルを使って、外部モニターの映像入力端子と接続できます。

映像ケーブル：ミニプラグ(3.5φ2極プラグ)⇔ピンプラグ×1

音声ケーブル：ステレオミニプラグ(3.5φ3極プラグ)⇔ピンプラグ×2



■S映像端子を使って接続する

市販のS映像ケーブルを使って、外部モニターのS映像入力端子と接続すると、映像ケーブルで接続するよりもきれいな画質で見ることができます。

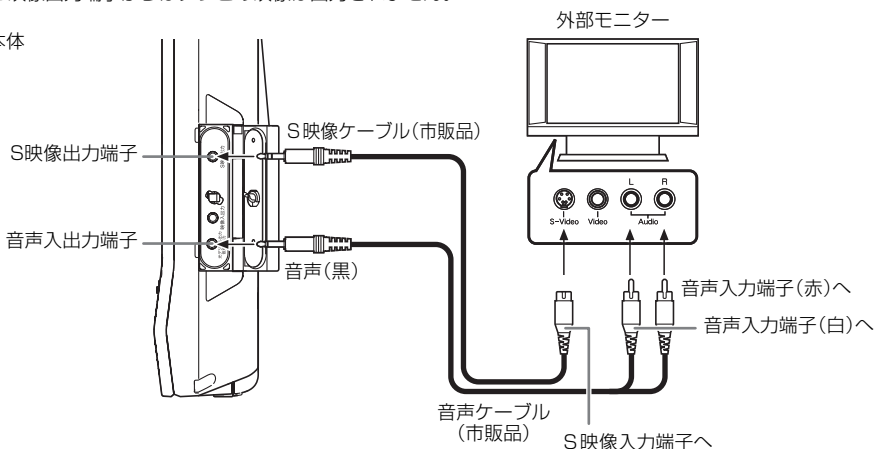
S映像ケーブル：ミニプラグ(S映像、3.5φ3極プラグ)⇔Sプラグ(S映像)

※ 4極タイプは使用できません。

音声ケーブル：ステレオミニプラグ(3.5φ3極プラグ)⇔ピンプラグ×2

※ S映像出力端子からはテレビの映像は出力されません。

本体

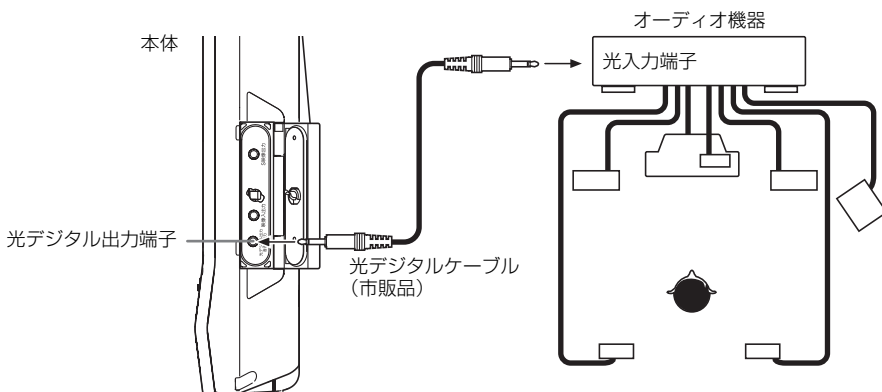


■オーディオ機器と接続する

● 設定メニューで「デジタル出力」を「RAW」に設定してください。

市販の光デジタルケーブルを使って、ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器と接続できます。

※ 光デジタル出力端子からはテレビの音声は出力されません。



メモ

- 必要に応じ、「設定メニューの使い方」(55ページ)で設定してください。
- ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しないオーディオ機器と接続するときは、「設定メニュー」で「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。

■ビデオカメラとの接続

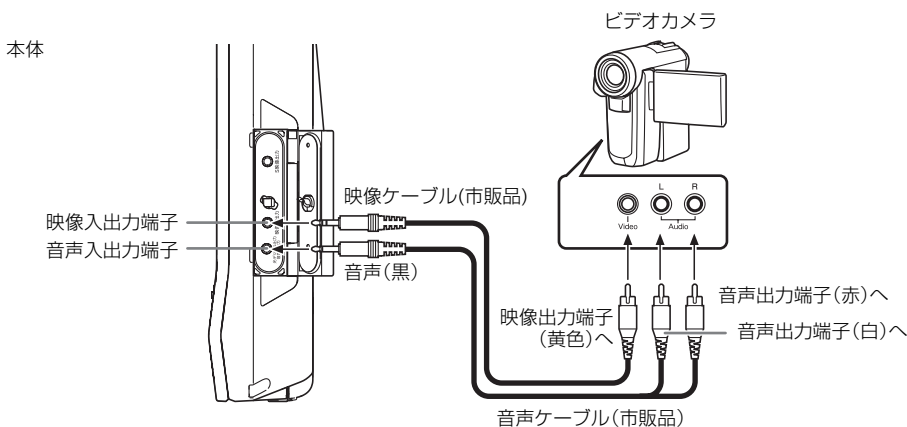
市販のケーブルを使って、ビデオカメラやテレビゲームの映像出力端子と接続し、モニターとして使用できます。

映像ケーブル: ミニプラグ(3.5φ2極プラグ)⇔ピンプラグ×1

音声ケーブル: ステレオミニプラグ(3.5φ3極プラグ)⇔ピンプラグ×2

最初に[モード切換]を押し、「外部入力モード」を選びます。 **リモコン** **本体**

- すでに外部入力モードの場合、この操作は不要です。
- 押すごとにモードが切り換わります。
「DVDモード」 → 「TVモード」 → 「外部入力モード」



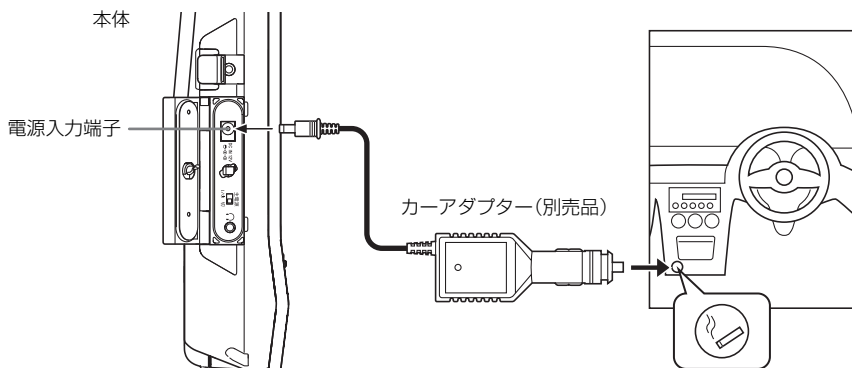
- ビデオカメラなどを接続して使う場合は、必ず「外部入力モード」に切り換えてから接続してください。また、「DVDモード」や「TVモード」をご使用の場合は、必ずビデオカメラなどははずしてからご使用ください。

■車で使う(カーアダプター)

- DC12V (-) マイナスアース車専用です。

カーアダプターCA-K1281(別売)を使うと、車のシガレットライターソケットから本機の電源がとれます。

- 1 カーアダプターを車のシガレットライターソケットに差し込んでください。
- 2 カーアダプターのプラグ側を、本機の電源入力端子に接続してください。



車 家

- 本機はDC12V (-) マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
- カーアダプターCA-K1281(別売)を必ず使用してください。指定以外の物を使用すると、本機内部の部品を傷めます。
指定以外のカーアダプターの使用による障害は保証できません。
- カーアダプターを抜き差しする際には、本体の電源を切ってください。
- エンジンを開始する場合は、本体の電源を切ってください。
- カーアダプターは、長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 車から降りるときは、必ずカーアダプターをシガレットライターソケットから抜いてください。車のバッテリーがあがる場合があります。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグのサイズが、シガレットライターソケット(DC12V)の口径に合わない場合があります。ご注意ください(特に外国車など)。

■アンテナコードを使う

アンテナコード(ビデオデッキ/DVDレコーダー接続専用)(CF-262別売)を使うと、お風呂の中でも電波の受信が安定した状態でテレビが見られます。

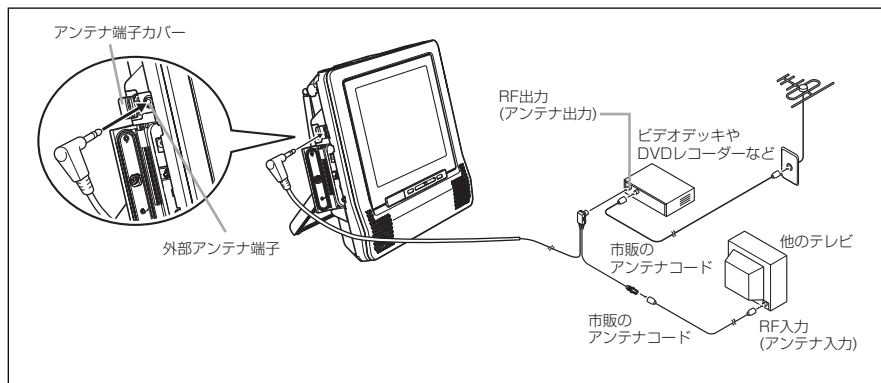
ご使用の前に

- アンテナコードは、RF出力(アンテナ出力)端子がないビデオデッキやDVDレコーダーなどではご使用になれません。
- アンテナコードを使用しても受信状態が安定しない場合には、市販のブースター(電波を強くする増幅器)を使用することをお勧めします。

使用方法

- アンテナコード(CF-262)は、外部アンテナ端子が乾いた状態で接続してください。

- 1 アクティブアンテナを収納します。
- 2 アンテナ端子カバーを開けます。
- 3 アンテナコードのプラグを乾いた布でよく拭いてから、外部アンテナ端子に差し込みます。
- 4 市販のアンテナコードを使って、コードの端にあるRFコネクタと他のテレビのRF入力(アンテナ入力)を接続します。
- 5 コードの中間にあるRFコネクタをビデオデッキやDVDレコーダーなどのRF出力(アンテナ出力)に接続します。



 **警告**

- 雷が鳴り出したら本機やアンテナコードには触れないでください。感電の原因となります。
- アンテナコードを、壁面のアンテナ端子や外部アンテナに直接接続しないでください。落雷により火災や感電の原因となります。
- アンテナコードを、風呂のお湯（水）の中に浸けないでください。落雷により火災や感電の原因となります。

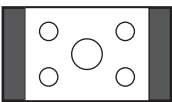
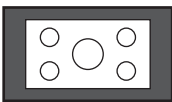
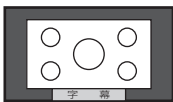
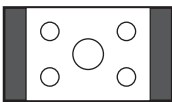
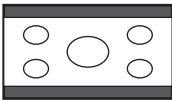
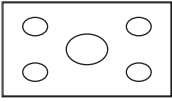
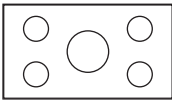
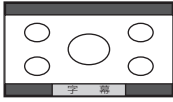
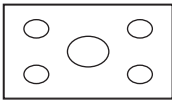
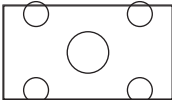
本機でデジタル放送をご覧になるには

市販のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質は高精細にはなりません。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

付録

■画面サイズの切換について

画面サイズを切り換えると、実際の画面は以下のように表示されます。

アスペクト比 画面サイズ	DVDモード			TVモード/外部入力モード
	アスペクト比が4:3の映像(通常のテレビのアスペクト比)	アスペクト比が16:9の映像(ワイドテレビのアスペクト比)	アスペクト比がLB(レターボックス)の映像(映画などピクスタサイズやシネマスコープサイズのアスペクト比)	
ノーマル	 そのまま表示します。画面の左右は黒になります。	 そのまま表示します。画面の周りは黒になります。	 そのまま表示します。画面の周りは黒になります。字幕はソフトにより画面の外側、または内側に表示されます。	 そのまま表示します。画面の左右は黒になります。
シネマ		 左右だけ拡大します。		
ワイド	 左右だけ拡大し、画面いっぱいに表示します。	 画面いっぱいに表示します。	 左右だけ拡大します。	 左右だけ拡大し、画面いっぱいに表示します。
ズーム				 全体を拡大します。画面サイズより外側の上下部分は表示されません。

※映し出される映像は、ソフトの種類や、接続した機器によって異なります。

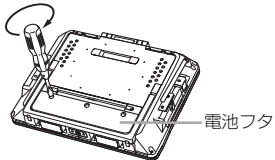
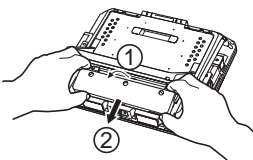
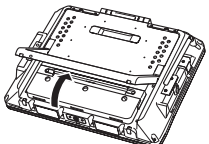
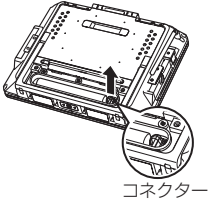
■製品を廃棄される場合

製品を廃棄する際は、内蔵充電電池を取り外してリサイクルしてください。

内蔵充電電池の取り出し方



- 本作業を行う場合は必ず主電源スイッチを切ってから作業を行ってください。

<p>1 電池フタのネジをプラスドライバーなどを使ってはずします。</p> 	<p>3 溝に指を引っ掛けて(①)電池フタを外します(②)。</p> 
<p>2 スタンドを引き上げます。</p> 	<p>4 ツメを押しながらコネクターを外して、内蔵充電電池を取り出します。</p> 

■内蔵充電電池を交換するには

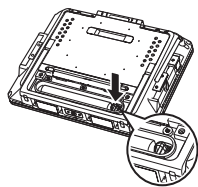
内蔵充電電池は次の手順で交換してください。



- 内蔵充電電池は必ずDV-700W/900W 用充電電池をご使用ください。
- 本作業を行う場合は必ず主電源スイッチを切ってから作業を行ってください。

1 「製品を廃棄される場合」(上記)を参照し、古い内蔵充電電池を取り外します。

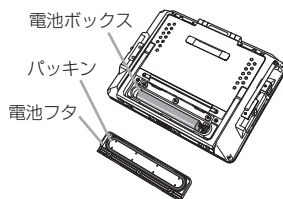
2 新しい電池のコネクターを接続し、電池を入れます。



コネクター

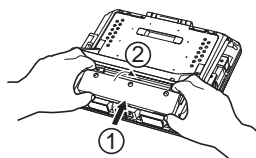
3 電池フタのパッキンと、電池ボックスの周りに微細なゴミや異物がないことを確認します。

- ゴミや異物が挟まると、防水機能が維持できなくなります。

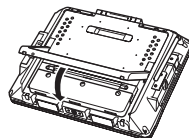


4 スタンドを引き上げた状態で、電池フタを装着します。

- 電池フタの下側を入れ (①)、ネジ穴部分を押し込んでください (②)。

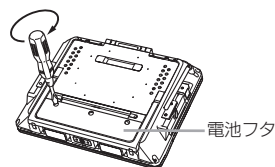


5 スタンドを下げます。



6 電池フタのネジをしっかりと締めます。

- 確実に閉まっていない場合には、製品内部に水が入り故障の原因となります。



充電式電池の取扱いについて

●リサイクルのお願い



Li-ion

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

●ホームページ <http://www.jbrc.com/>

●使用済み充電式電池の取扱注意事項

- コネクター部をテープなどでくみ、ショートしないようにしてください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■故障とお思いになる前に

万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前に、もう一度次の点をお確かめください。

症状	確認事項	解決方法
ボタンを押しても動作しない。	・ 内蔵充電電池が消耗していませんか？	・ 充電してください。
	・ ACアダプターがはずれていませんか？	・ 正しく接続してください。
	・ 結露していませんか？	・ 約1時間待ってから使用してください。
リモコンのボタンを操作しても、反応がない。	・ リモコンの電池が消耗していませんか？	・ 電池を交換してください。
	・ リモコンの電池が表裏逆に入っていませんか？	・ 電池を入れ直してください。
	・ リモコン受光部に、強い光があたっていませんか？	・ 本機の位置や角度を変えて、強い光があたらないようにしてください。
画面が暗い。	・ 「明るさ」が暗く調節されていませんか？	・ 「設定メニュー」の「基本設定」の「画質調整」で「明るさ」を調整してください。
	・ 温度の低い所で使用していませんか？	・ 蛍光管が明るくなるまで、少しの間お待ちください。
	・ 輝度切換を「節電」に設定していませんか？	・ 輝度切換を「標準」に設定してください。
	・ 上記以外	・ 蛍光管の交換が必要です。
画面がまぶしい。	・ 「明るさ」が一番明るく調節されていませんか？	・ 「設定メニュー」の「基本設定」の「画質調整」で「明るさ」を調整してください。
テレビが不鮮明、画像が流れる、くずれる、二重になる、その他。	・ アクティブアンテナが正しく調節されていますか？	・ 鮮明な画像になるように、アクティブアンテナを調整してください。
	・ アンテナ感度切換が正しく設定されていますか？	・ 「設定メニュー」の「TV／外部入力設定」の「アンテナ感度切換」を設定してください。
	・ 自動車、電気器具などからの妨害電波を受けていませんか？	・ 妨害電波から離れた場所でご使用ください。
	・ 電波が弱いあるいは障害物がありませんか？	・ 外部アンテナや市販のブースターなどをご使用ください。

症状	確認事項	解決方法	
ディスク	ディスクを入れても再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクが裏返しに入っていませんか？ ・ ディスクの再生面を下にして入れてください。 ・ ディスクがひどく汚れていませんか？ ・ ディスクの汚れをふき取ってください。 ・ ディスクが正しくセットされていますか？ ・ ディスクを正しくセットしてください。 ----- ・ お客様ご自身で作成されたディスクの場合、データの作り方やディスクの状態、作成した機器の状態によっては再生できないことがあります。 	
	音が飛ぶ、映像が乱れる。ディスクが特定の場所で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傾けたり、振動をあたえていませんか？ ・ 平らで、衝撃が少ないところに置いてください。 ・ ディスクの状態が悪く(汚れ、キズ、ソリなど)ありませんか？ ・ 汚れをふき取ってください。(傷んだディスクは使わない) ----- ・ お客様ご自身で作成されたディスクの場合、データの作り方やディスクの状態、作成した機器の状態によっては正しく再生できないことがあります。 ・ 使用温度範囲以外でご使用になっていませんか？ ・ 使用温度範囲でご使用ください。 	
	再生できない・動作がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車の中など、温度の高い場所で使用していませんか？ ・ 主電源スイッチを切り、本機の温度が下がってから再度ご使用ください。極端な温度下や日差しの強い場所には放置しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。 	
	スピーカーから音が出ない、小さくなった。	・ 音量が下がっていませんか？	・ 音量を調節してください。
		・ 音を消していませんか？(ミュート)	・ もう一度[ミュート]を押して、消音を解除してください。
・ スピーカーの音孔部に水が入っていませんか。		・ 乾燥した場所に放置して水分を蒸発させてください。	
ヘッドホンから音が出ない。	・ ヘッドホンがはずれていませんか？	・ ヘッドホンを正しく接続してください。	
	・ 音量が下がっていませんか？	・ 音量を調節してください。	
接続した機器から映像や音声が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続コードが正しく接続されていますか？ ・ 各接続コードを正しく接続してください。 ・ 光デジタル出力端子を使ってオーディオ機器と接続した場合、設定メニューは正しく設定されていますか？ ・ 光デジタル出力端子を使って接続した場合は、「設定メニュー」の「デジタル出力」を正しく設定してください。 		
パスワードを忘れてしまった。	-----	・ 最初のパスワード「6789」を入力してください。	
本体が熱くなる。	・ 使用中や充電中は熱くなりますが、故障ではありません。	-----	
動作しない。	・ その他の要因が考えられます。	・ 主電源スイッチを切ってACアダプターを外し、しばらく放置してから再度接続し、動作をお試しください。	

■蛍光管について

1. バックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。暗くなったりチラつく場合は、最寄りの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は約10,000時間です。
2. 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

■製品仕様


製品名	DV-700W/DV-900W
表示素子	高解像度カラーLCD ^(注1)
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面寸法	DV-700W 幅15.4 高さ 8.7 対角17.7cm (7V型) ^(注2) DV-900W 幅19.8 高さ11.2 対角22.7cm (9V型) ^(注2)
画面構成	画素数 112,320 画素 ドット数 480(水平)×3(RGB)×234(垂直)ドット
使用光源	内部光(バックライト)蛍光管
受信チャンネル	VHF：1～12ch UHF：13～62ch CATV：C13～C38
カラー方式	N.T.S.C
アンテナ	アクティブアンテナ
音声方式	ステレオ、音声多重、モノラル
音声実用最大出力	1.0W+1.0W(JEITA)
接続端子	ヘッドホン端子 φ3.5ステレオミニタイプ S映像出力端子 φ3.5ステレオミニタイプ 映像入出力端子 φ3.5ミニタイプ 音声入出力端子/光デジタル出力端子 φ3.5ステレオミニタイプ 外部アンテナ端子 φ3.5ミニタイプ 電源入力端子：DC入力12V
消費電力	DV-700W：約17.5W DV-900W：約18W
待機電力	1W以下
使用電源	内蔵充電電池 リチウムイオンバッテリー DV-700W/DV-900W用充電電池 ACアダプター AD-K1281 カーアダプター(別売) CA-K1281

動作温度 0℃～+40℃
 充電温度 5℃～+35℃
 保存温度 -20℃～+60℃
 防水機能 JIS IPX6／IPX7(旧 JIS保護等級6耐水形／7防浸形) 相当
 外形寸法 幅28.4×高さ21.3×奥行4.8cm
 スタンドを含めた設置時の奥行
 スタンド1段開き時 約8.3cm
 スタンド2段開き時 約12.0cm
 質量 DV-700W : 約1800g
 DV-900W : 約1830g
 リモコン WR-627
 使用電源 リチウム電池(CR2032)

(注1) 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

(注2) テレビのV型(42V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

●仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

<p>愛情点検</p> 	<p>長年ご使用の液晶カラーテレビの点検を！ こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像が乱れたり音が出ないことがある ●ACアダプターやコードが異常に熱い ●コゲくさい臭いがする ●電源コードに深いキズや変形がある ●その他の異常や故障がある
--	--

↓

<p>故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。 なお、点検・修理に要する費用は販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。</p>
--

MEMO

MEMO

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA0511-C

Printed in China